

第5回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日時：5月23日(月) 13:00~17:00

会場：気象庁第1会議室(5階)

内容：(招待講演)

1. 川口英之(京大・農)
森林生態系の更新動態と物質循環
2. 後藤尚弘(財, 地球環境産業技術機構)
炭素循環モデルによる地球温暖化の陸上生態系への影響予測
(一般講演)未定

世話人：及川武久(筑波大・生物科学),
木田秀次(京大・理)

より詳しい内容については「天気」4月号に掲載予定。

尚、今回から、研究会における講演希望者を募集していますので、希望のある方は、演題と簡単な内容を下記までお知らせ下さい。

連絡先：〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学・生物科学系

及川武久

TEL and FAX 0298-53-6661

募集締切：4月15日



地球大気化学国際シンポジウムのお知らせ

今年9月5日(月)より9日(金)まで、富士山北麓の富士吉田市にあるハイランドリゾート・ホテルにおいて、地球大気化学国際シンポジウムが開催されます。このシンポジウムは4年毎に開催されるCACGP(大気化学・地球規模汚染委員会)の第8回目のシンポジウムと、IGAC(地球大気化学国際協同研究計画)の第2回目の科学会議を併せて日本に招待して開催するものです。

このシンポジウムは、グローバルな対流圏化学に関する研究であれば野外観測、室内実験、モデリングなどすべて扱いますが、特に次の4つのメインテーマで口頭発表のセッションを構成します。

1. 二酸化炭素を含む温室効果気体の分布とフラックス
2. 対流圏オゾン
3. 硫黄と窒素のサイクル、特にアジア域を中心とする大気酸性化における役割
4. エアロソルと雲の化学、およびその気候における役割

論文発表申込はすでに2月1日で締切り、約270件の申込が集まっています。口頭発表のセッションでは、上記4つのテーマ毎に総合報告論文を3~4件ずつ含め、約80件の発表を予定しています。ポスター発表は、会期の前半と後半の2部に分けて、約100件ずつを展示する計画で、IGACの活動毎に展示をまとめることにしています。

プログラムができあがり、宿泊の登録などを含め、次の案内を送付するのは7月になるでしょう。

なお、このシンポジウムに関するお問い合わせは下記宛でお願いします。

第8回CACGP/第2回IGACシンポジウム事務局
(事務局担当：岩上直幹または小川利紘)

住所：東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学系研究科地球惑星物理専攻

電話：(03)3812-2111 内線4590(岩上)

4592(小川)

FAX：(03)3818-0745